

## 働きがいのある職場づくり

### ■ コープしが職員像

「一人ひとりの組合員が信頼と安心をいつも感じることができ、一人ひとりの組合員にとって大切な生協」と思ってもらえるように仕事に取り組む必要があります。そのために「コープしが職員像」に示されたことが当たり前に行えるようにすすめています。

### ■ 人財育成方針に基づく教育研修と能力開発

職員が組合員のくらしづくりに貢献できるよう「コープしが職員像」から一人ひとりの職員に求められる行動を示し、それらの行動が実践できるように必要な教育研修を組み立てています。

### ■ 安全で安心して働ける職場環境の実現

「中央労働安全衛生委員会」と職場ごとの「職場労働安全衛生委員会」を設け、労働災害の発生防止や5S推進、健康増進活動、腰痛予防体操や腰痛健診の実施安全運転研修など働きやすい環境づくりを進めています。

また、「ハラスメントに関する基本方針」を定め、セクハラ、パワハラ等の行為防止の啓発の取り組み、「ヘルプライン相談窓口」「メンタルヘルス相談窓口」を設けています。

#### ● 労災事故発生件数 (件)

年度	件数
2014年度	35
2015年度	30
2016年度	27

#### ● ヘルプライン対応件数 (件)

年度	件数
2014年度	3
2015年度	6
2016年度	3

### ■ 素直に感謝しあう職場風土づくり

コープしが職員の行動が、組合員や地域の方から「良かった、ありがとう」と感じていただいた事例を共有するために表彰制度を設け、個人のモラル向上や仕事レベルアップにつなげています。



入協式



自主研修コープしがカレッジ



安全運転研修



職場風土づくり

コープしが職員像 コープしがの職員は一人ひとりが自立し集団の力で前進します

#### 三つの心得

1. さわやかな笑顔で元気に挨拶します
2. 約束や職場のルールは必ず守ります
3. 誰にでも正直、親切、丁寧、素直に接します

#### 行動綱領五箇条

1. 人の傷みがわかる心もち、地域社会に奉仕します
2. 常にコスト意識をもち、ムダ・ムラ・ムリをなくします
3. いかなる仕事も情熱をもって最後までやり遂げます
4. 豊富な知識を身につけるため、努力を惜しみません
5. 健全な精神、健康な身体を維持します

## ルールに基づいた運営

### ■ コーポレートガバナンス

#### 【機関運営】

コープしがの機関は、組合員の代表である総代が方針や事業計画などを決定する総代会、総代会で選任された理事会と組合を統轄し業務執行する代表理事、その決定や業務執行を監視する監事で運営を行っています。

#### 【理事会】

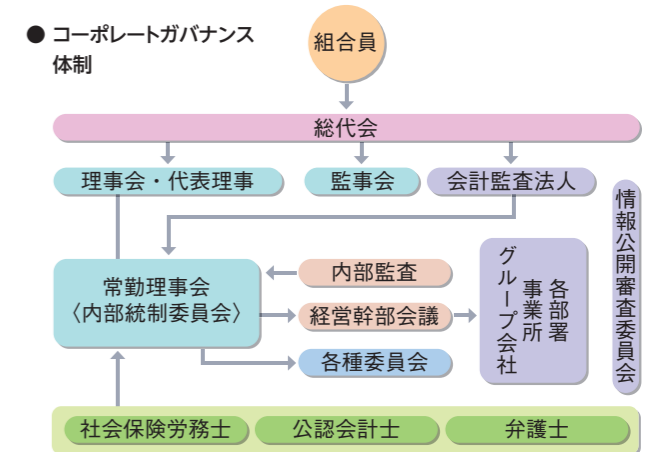
理事会は毎月開催し、総代会で承認された方針の意思決定と代表理事や常勤理事会の日常業務の執行状況を確認しています。

#### 【監査】

総代会から負託を受け理事会の業務執行を監査する「監事監査」、会計監査法人による「外部監査」、内部監査担当による「内部監査」の三様監査でチェックしています。



第36回通常総代会(2016年)



### ■ 組合員の運営参加

#### 【3つの運営参加】

組合員は、宅配事業や店舗などの利用を通じて参加する「事業活動ライン」、地域委員会やエリア活動を通じて参加する「組織運営活動ライン」、そして「総代」として懇談会や総代会議案検討会議などを通じて参加する「機関運営活動ライン」の3つで生協に運営参加します。

#### 【総代の活動】

総代は、総代会に参加しコープしがの方針を決定します。そのために総代会に向けての年3回の会議で、活動参加や利用参加を通じての組合員のくらしやニーズなどの意見を述べます。



年度末総代懇談会

### ■ 内部統制基本方針に基づく運営

#### 【コンプライアンス】

「コープしがで働く私たち一人ひとりが、法令及び規則、ルール、社会的規範を守り、すべての利害関係者、とりわけ組合員のくらしに役立つために行動し、その使命を果たすために全力を尽くす」ことを誓い、コンプライアンス基本方針・自主行動基準を定めています。実践に向けて毎年全職員が学習を行い、セルフチェックで達成状況の確認を行っています。

#### 【リスクマネジメント】

コープしがの全業務に係わるリスクを洗い出し、個々に分析・評価を行い、リスク管理表を作成し発生防止に努めています。全職員にリスク教育を行い、発生防止対策や発生時と収束後の対応をルール化し徹底しています。

#### 【個人情報保護】

個人情報保護法にもとづき組合員データを適切に管理しています。個人情報は規定やルールを明確にし、適正に取得・利用・管理・廃棄の手順を定め、職員教育を徹底しています。取引先や委託業者には覚書を交わし、安全管理の義務付けと定期的な点検を行っています。

#### 【危機管理】

重大なリスクが発生した場合、速やかに対応するため危機管理規定や危機対応マニュアルを定め、訓練等を行っています。地震や台風など大規模災害の対策は、震災対策マニュアルやBCP（事業継続計画）を整備し、組合員や地域への事業者責任を果たす準備や対策を講じています。

## びわ湖に親しみ保全に取り組む活動

コープしがでは「びわ湖を大切にすること」を育む活動を「びわこ\*たいせつ」活動として、琵琶湖の水源を守る「コープの森」の取り組みや、コープしがびわ湖の日の「湖岸清掃ウォーク」など、組合員や役職員と一緒に環境の取り組みを進めています。2016年度も多様な取り組みに組合員・役職員約1,000人が参加しました。

### ■ コープしがびわ湖の日・湖岸清掃ウォーク

毎年9月の第1土曜日を「コープしがびわ湖の日」と定め、実施している琵琶湖岸の清掃活動。2016年度は琵琶湖博物館（草津市）周辺の湖周道路沿いの清掃に組合員、役職員約400人が集まり、約2時間の清掃活動で収集コンテナ1台分のゴミを回収しました。



湖岸清掃ウォーク

### ■ 「ニゴロブナの稚魚放流」と学習・試食会「びわ湖のめぐみ発見」

放流までの2ヶ月間、家庭で育てたニゴロブナの稚魚を放流会場となった烏丸半島（草津市）のホワイトビーチに持ち寄りました。家族で成長を見守ったニゴロブナを放流し、元気に泳ぎ出す稚魚を見送りながら湖魚を守る取り組みや命

の大切さを感じました。

放流後は琵琶湖博物館で琵琶湖の固有魚と“琵琶湖八珍”について学習し、ピワマスを使ったアメノイご飯の試食を行いました。



ニゴロブナ放流



琵琶湖の固有魚の学習



### ■ 湖魚を学ぶ・ピワマス放流体験

びわ湖で獲れる水産物の水揚げ量は様々な理由で減少傾向となっています。琵琶湖環境科学研究センターや滋賀県漁連の方から、琵琶湖と湖魚（主にピワマス）について学び、滋賀の郷土料理「アメノイご飯」の試食や、ピワマスの稚魚を安曇川に放流しました。琵琶湖と河川、生き物について考える機会となりました。



アメノイご飯試食



ピワマス放流

### ■ 琵琶湖のヨシを守る

琵琶湖のヨシ原は水を浄化したりニゴロブナなどの産卵場所になったりしています。冬の間にヨシを刈り取ることで、次の春に良いヨシが生えることとなり、琵琶湖を守ることに繋がります。コープしがは他の団体とともに琵琶湖のヨシを守る活動に参加しました。



西ノ湖のヨシ刈り



## コープの森の取り組み

びわ湖の水源の森を守るために「コープの森 余呉」（長浜市）と、「コープの森 あぶらひ」（甲賀市）の二つの生産森林組合と琵琶湖森林づくりパートナー協定を結び、森林整備費用の協力を行っています。また、職員ボランティアによる間伐や整備道づくり、組合員の自然観察会、新たな取り組みとしてどんぐりプロジェクトに取り組みました。

### ■ コープの森 森林整備ボランティア、やさしい自然観察会

職員のボランティア活動として、森林整備のための整備道づくりや間伐作業を行いました。また、組合員親子による獣害防止のためのテープ巻きや地元のガイドさんの案内で植物観察会を行いました。



コープの森余呉

間伐ボランティアと自然観察会

### ■ コープの森あぶらひ どんぐりプロジェクト

「コープの森あぶらひ」では戦後植林された杉・檜林の一部をクスギに転換する事業がすすめられています。「植林」という事業に組合員が家族で発芽苗から約9ヶ月間育て、「コープの森」に植樹して森の整備、育成に関わっていく取り組みとして「どんぐりプロジェクト」がスタートしました。どんぐりの木が生長したら椎茸のホダ木として活用される予定です。記念植樹のあとは椎茸の菌打ち体験を行いました。



コープの森あぶらひ



どんぐり苗の植樹



どんぐりプロジェクト

## 商品の利用を通して環境に貢献する活動

琵琶湖の環境保全に役立ててもらうため、CO・OP洗剤や産直米の利用に合わせた金額を「マザーレイク滋賀応援基金」に寄付する取り組みを継続しています。水環境にやさしいCO・OP洗剤や、環境こだわり農産物の滋賀県産産直米（登録）の利用を増やすことで、環境に配慮した商品の普及と寄付の両面で環境保全に貢献することにつながります。

### ● 2016年度寄付金額

商品	利用料	寄付金額
産直米登録利用	375,728Kg	375,728円
CO・OP洗剤	64,454点	64,454円
合計		440,182円

## 事業に関する環境報告

コープしがは「2020年に向けた新たな環境政策」に基づき、事業と活動の両面で地球温暖化防止や自然環境の保全などの課題について、4つのテーマ（①組合員活動としての環境保全、②産直や産地地消などの環境配慮商品の強化、③温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の総量削減、④廃棄物の更なる削減と事業化）で取り組みを進めています。

### エネルギー資源の効率的な使用と 温暖化効果ガスの削減

#### [エネルギーの効率的な使用]

電気使用量は、継続的に削減に取り組んできましたが、既存事業所では削減が難しくなっています。2016年度の電気使用量の目標は、前年開店したコープもりやま店が通年営業となることを考慮し、コープもりやま店を除いた事業所で前年実績を維持することです。年間使用量は目標比3.9%超過となり、コープもりやま店の実績加えると、前年比32.7%の大幅な増加となりました。

#### [温室効果ガスの削減]

温室効果ガスは、コープしがだけでなく関連する子会社、物流センター、委託配達も含めて管理しています。環境政策では、2005年の温室効果ガスの排出量を基準とし2020年には20%削減すること目標にしています。2014年度には13.4%削減となっていたが、その後のSM2店舗の改築や新規出店、宅配事業の伸張による車両燃料の増加等により、2016年度の温暖化効果ガスの削減率は、2005年度の2.3%削減にとどまりました。（2016年度供給高は2005年度比35%伸長）

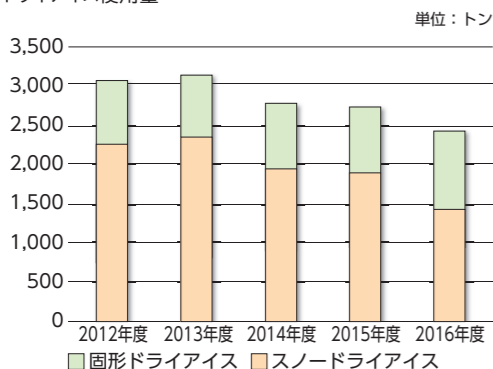
※電気CO<sub>2</sub>排出係数は、2005年度時点の数値を2020年まで使用

車両燃料からの温室効果ガスの排出量を削減するため、BDF（※）燃料を5%配合した軽油を宅配3センターの車両に導入を行っています。

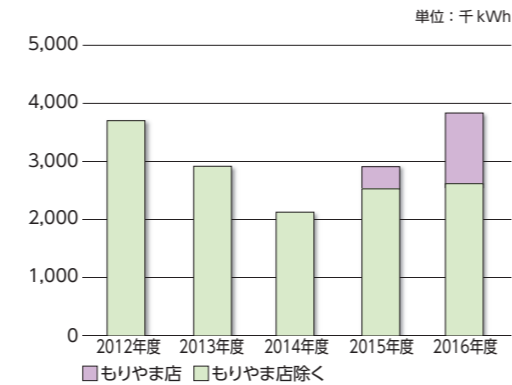
※BDFは、廃食油を原料とするディーゼルエンジン用の燃料です。コープしがは、軽油にBDFを5%添加したBDF5を使用しています。

温室効果ガスの排出量は含めませんが、ドライアイス使用量の管理も行っています。2015年12月から更新した保冷効果の高い冷凍大型ボックスの効果もあり、前年の78.9%に大幅削減することができました。

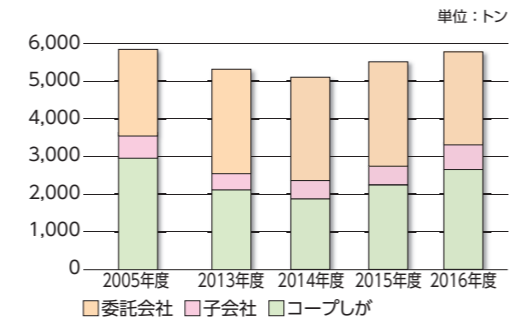
#### ●ドライアイス使用量



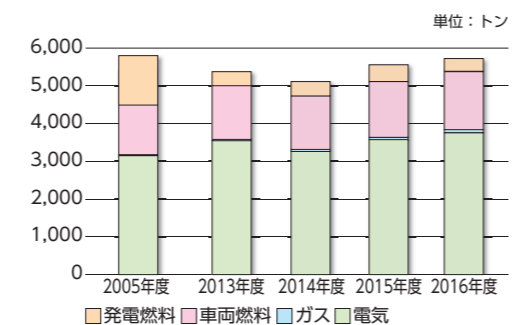
#### ●電気使用量



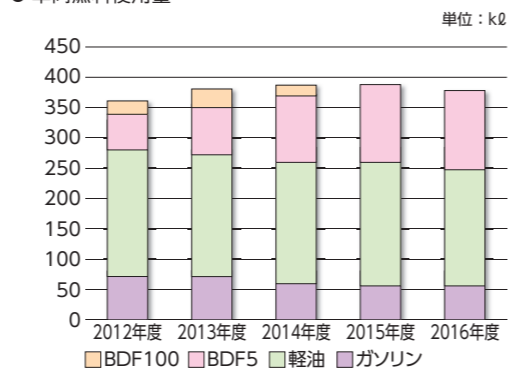
#### ●温室効果ガス排出量 (組織別)



#### ●温室効果ガス排出量 (発生源別)



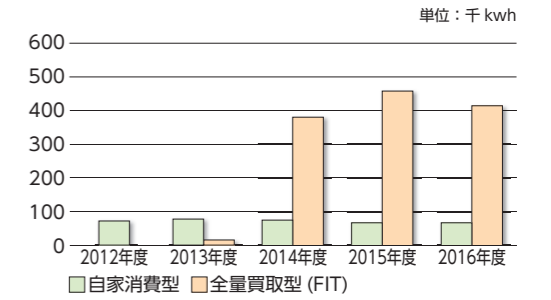
#### ●車両燃料使用量



### [再生可能エネルギーの活用]

コープしがの太陽光発電設備は、現在総発電容量が516kwとなっています。2016年度は、機器の故障や日照時間、降雪の影響により全量買取型、自家消費型ともに発電量は前年を4.3%下回る実績となりました。売電額は1,568万円でした。

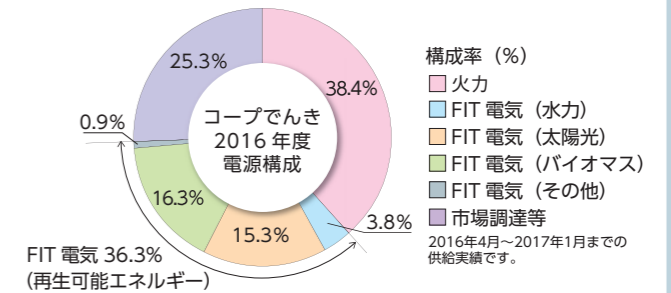
#### ●太陽光発電発電量



### トピック

#### 「コープでんき」の取り扱いを開始しました

2016年4月から「電力の小売り全面自由化」が始まりました。コープしがは組合員に電気代が節約でき、再生可能エネルギーによる電気の割合が高い「コープでんき」の取り扱いを開始しました。年度末で3,652人の方にご利用いただいています。



### 廃棄物の削減とリサイクル

#### [廃棄物の削減]

コープしがでは、一般廃棄物は食品廃棄物とそれ以外に分別し、食品廃棄物は飼料に再生しています。産業廃棄物は大半が廃プラ類になりますが、有価物として売却できるものは分別・減容加工し再生原料として販売しています。分別できない残りは処理業者がRPF（固形燃料）に加工して有効利用されています。それ以外に分別した廃棄物は、当該行政の焼却場で焼却処分します。

2016年度はコープもりやま店の通年営業等により、産業廃棄物（廃プラ）が前年比3.4%増え、一般廃棄物（焼却処分）は79%増と大幅に増加しました。

#### [食品リサイクル]

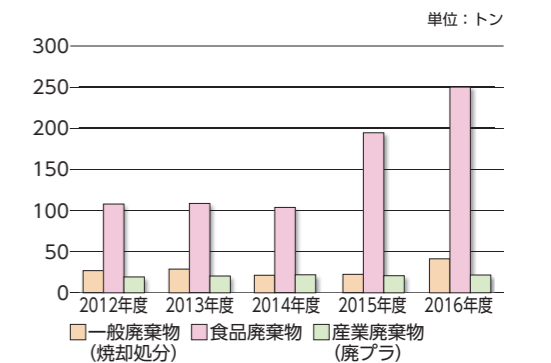
食品廃棄物は、コープもりやま店の通年営業に伴い前年比32.6%増と大幅に増加しました。食品廃棄物は主に飼料に再生して有効活用を図っています。排出量の55%以上を再生することが法律で義務付けられており、2016年度は目標を超える98%を再生利用しました。また、排出の抑制では、売上高百万円あたり65.6kg以内という努力目標が設定されていますが、2店舗の排出量は46.5kgで目標以内に抑えることができました。

#### [リサイクル活動]

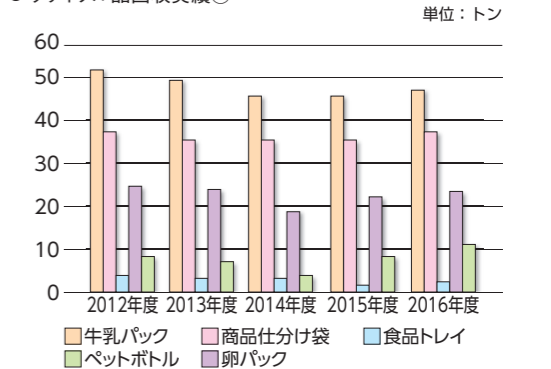
コープしがでは宅配や店舗事業で商品と一緒に組合員に供給した容器包装や、商品案内書は、出来るだけ組合員から回収して資源としてリサイクルしています。2016年度は、宅配事業の伸長やコープもりやま店の通年営業などにより、すべての回収品で前年実績を超える回収量となり、目標（前年実績の維持）を達成しました。

回収率では、商品案内書が前年より3.4%向上し55.7%に、商品仕分け袋は0.1%向上して33.6%となりました。

#### ●廃棄物排出量



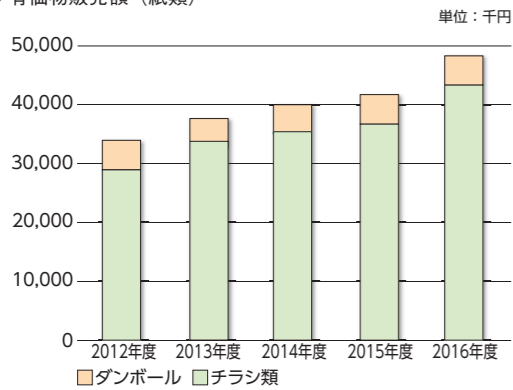
#### ●リサイクル品回収実績①



【リサイクル事業】

組合員から回収したリサイクル品や物流センターで出るストレッチフィルム、PPバンド、ダンボールなどは、近江八幡市のアズコム物流センター内の「リサイクルセンター」に集め、分別や減容(圧縮)処理して、再生原料として販売するリサイクル事業を行なっています。最もウエイトが高いチラシ類の販売量が増えたことから、販売額総額は、5076万円(前年比11.3%伸長)になりました。リサイクルセンターの作業量が増えたため、2015年度から障がい者の雇用を1名増やしての作業を行なっています。

● 有価物販売額(紙類)



環境に配慮した商品の取扱い・購入

【県内商品の取り扱いを増やし地産地消をすすめる】

宅配での2016年度目標は、コープしが独自企画の「ばくばくエコー」で県内商品の企画点数を5%増やすこととしました。対象商品は、県内生産品・県内生産材料を使用した商品とし、目標を上回る前年比9.1%増の2,948企画することができました。

店舗では、県内農産物の供給高5%増を目標に対し、計画比16.3%伸張の5700万円の実績となり、地場商品の取り扱いが大きく伸びました

【グリーン購入】

グリーン購入対象商品を優先的に購入する活動は、事務用紙と事務用品に区分して管理しています。事務用紙は、グリーン購入対象紙の使用が定着し、購入率は99.85%(重量比)になっています。事務用品の購入率は65.45%(点数比)でした。

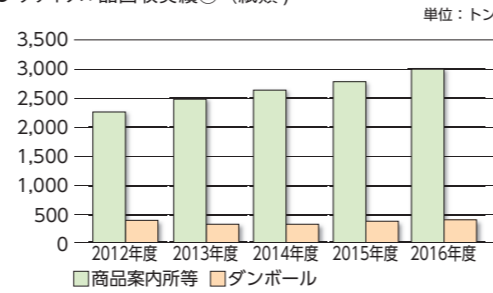
【環境に配慮した商品の取扱い】

商品案内書エコーやくらしのパートナーで取り扱いのコープきんき共同企画商品でも環境に配慮した商品の取り扱いが増えました。

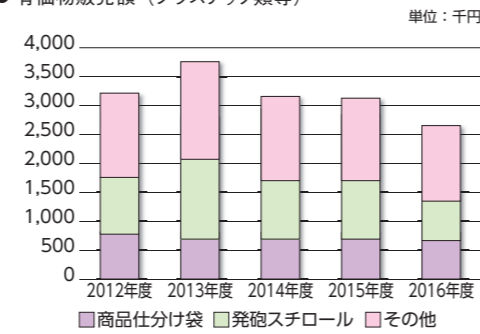
● 環境配慮商品実績

環境配慮商品	説明	利用点数	前年比
エコマーク	生産から廃棄を通して、環境負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品	252,287	100.8%
FSC	適切に管理された森林資源で作られた商品	214,015	129.4%
MSC	持続可能な漁業で獲られた水産物で作られた商品	101,227	94.5%
有機栽培	農業や化学肥料に頼らず環境負荷を減らして栽培しJAS認証を受けた農産物	149,133	102.0%
特別栽培	慣行栽培と比べ農薬・化学肥料の量が50%以下で栽培された農産物。	388,494	107.8%
レインフォレスト	熱帯雨林を守ることを目的に持続可能な農業を営む農園で育てられた商品	13,802	105.2%
コアノン・スマイルスクール	コアノンロール利用でアンゴラの学校づくりを支援する	81,425	99.9%
レッドカップキャンペーン	対象商品の利用で飢餓に苦しむ子どもたちに給食を支援する	82,598	100.6%
フェアトレード	発展途上国の農産物や商品を公正な価格で取引された商品	981	44.2%
産地指定	主要な原料に産地や栽培方法が明らかで国産素材を使った商品	1,192,940	122.3%
国産素材	主要な原材料に国産素材を使っている商品	3,112,167	111.8%

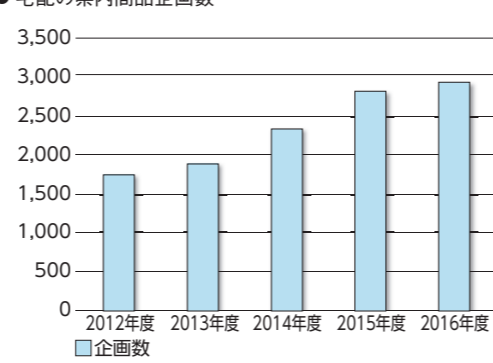
● リサイクル品回収実績②(紙類)



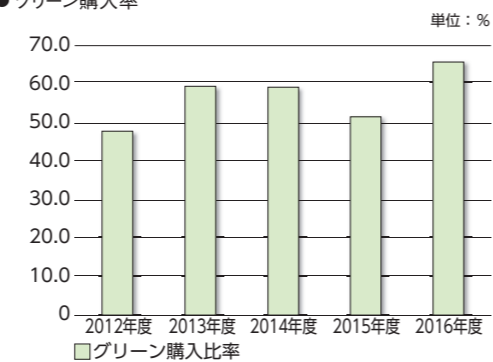
● 有価物販売額(プラスチック類等)



● 宅配の県内商品企画数



● グリーン購入率



コープしがの概要

(2017年3月20日現在)

- 名称 生活協同組合コープしが
- 設立 1993年3月21日  
滋賀県内4生協が合併して発足。  
(大津生協・湖南生協・東部生協・北部生協)
- 本部 滋賀県野洲市富波甲972番地  
TEL 077-586-1112(代表)
- 理事長 西山 実
- 専務理事 白石 一夫
- 組合員数 17万7,737人
- 加入率 31.8%(滋賀県559,128世帯)
- 出資金 109億7,608万円
- 供給高 314億3,500万円  
(内訳) 宅配事業 274億1,035万円  
店舗事業 35億3,297万円  
夕食宅配 2億9,386万円  
エネルギー事業 1億9,780万円
- 職員数 正規職員 283人  
嘱託職員 20人  
定時職員 595人(正規換算265.7人)  
※定時職員に専属職員、アルバイト含む



コープしがの事業所・事務所一覧

本部・事務所・その他施設

本部	野洲市富波甲972
福祉ネットワークセンター ゆめふうせん	大津市真野5-33-25
草津事務所	草津市西草津2丁目1-1
ケアサポートセンターぼこ	大津市柳川2丁目11-25
ケアサポートセンターぼこ野洲	野洲市富波甲963-1

店舗

コープぜぜ店	大津市竜が丘1-1
コープもりやま店	守山市勝部3丁目15-30

宅配事業センター

南草津センター	草津市笠山5丁目3-50
北大津センター	大津市真野5-33-25
草津センター	草津市上寺町カスリ281-1
中央大津センター	大津市国分2-226-22
甲南センター	甲賀市甲南町寺原303-6
東近江センター	東近江市五個荘清水鼻町153-6
長浜センター	長浜市西上坂町1020-1
彦根センター	彦根市竹ヶ鼻町224-1
高島センター	高島市新旭町新庄799

グループ会社

株式会社タクス	野洲市富波甲977
株式会社コープシステムサービス	近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)
株式会社シガフードプロダクツ	甲賀市甲南町寺庄330
株式会社滋賀有機ネットワーク	近江八幡市長光寺町瓶割山95-4 (AZ-COMロジスティック滋賀内)

コープしがのグループ会社

株式会社タクス	組合員のくらし全般をサポートするために、生協では扱えない事業分野を担っています(損害保険、生命保険、旅行、宅地建物取引など)
株式会社コープシステムサービス	物流に関する専門的なノウハウにより、適切な物流管理を担っています(倉庫・保管庫の管理、物流センター管理運営、物流資材の調達など)
株式会社シガフードプロダクツ	精肉の生産、流通及び加工までを一元管理し、安全・安心・良質な肉を適正価格で安定供給する(牛豚肉のバック加工、畜産加工品の販売など)
株式会社滋賀有機ネットワーク	県内での産直農産物の産地づくり推進と、農産品の流通を担う(穀類・野菜類・果物類の生産と加工。農作業及び農業経営の受託など)



生活協同組合コープしが

<http://www.pak2.com/>



- 用紙: 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ: 大豆油インキを含む植物油インキ
- 印刷: 有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造、廃棄に発生するCO<sub>2</sub>をカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量: 310.2g/部